

今日のトピック

オーストラリアの金融政策(2014年9月)

政策金利を据え置き、低金利政策が長期化へ

ポイント1 過去最低の2.5%で据え置き

市場予想通りの決定

- オーストラリア準備銀行(以下、RBA)は2日、政策金利を2.5%に据え置くことを発表しました。据え置きは12会合連続となり、過去最低の政策金利継続は1年以上に及んでいます。
- 公表した声明文では、「現行の政策は、景気とインフレの見通しに沿う」とし、低金利政策の継続を前回に引き続き示唆しました。

ポイント2 物価上昇率は緩やかな低下の見込み

景気は底堅さを維持

- 物価上昇率は、賃金上昇率が年率2%台後半で推移しそうなことや、年内予定の炭素税廃止の影響などから、緩やかな低下が見込まれます。
- 住宅市場は堅調に推移しています。消費は、家計と企業の景況感に改善が見られることから、底堅さを維持しそうです。労働市場は、雇用者数が増加傾向にあり、緩やかに改善しています。
- 輸出は資源価格がやや弱含んでおり、今後に不透明感を残しています。

今後の展開

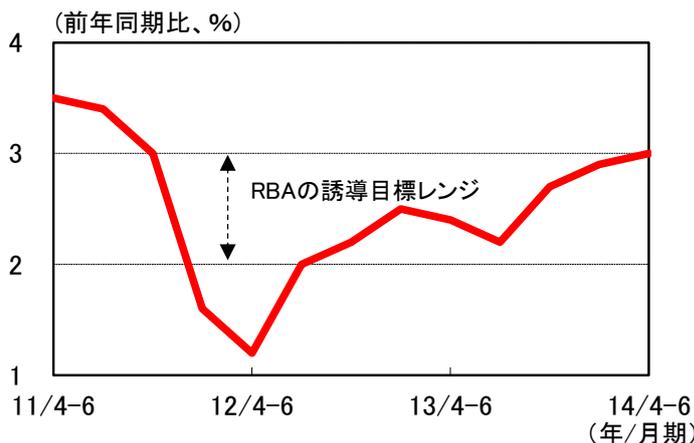
政策金利は当面据え置かれ、豪ドルは相対的高金利から底堅く推移

- GDP成長率は、低金利による住宅投資の拡大や、住宅価格と株価の上昇を背景とした個人消費の増加に支えられ、年率+3%前後で推移しそうです。
- RBAは、今後2年間の物価上昇率は年+2~3%の目標と合致するとの見方を示しました。物価はRBAの見方に沿って推移しそうです。



(注)データは2011年9月1日～2014年9月2日。  
(出所)Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

消費者物価指数



(注)データ期間は2011年4-6月期～2014年4-6月期。  
(出所)Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

- 企業が需要の強さを確認するまで設備投資を本格化しないと見られ、利上げの必要性はしばらく小さそうです。一方で、物価上昇率が誘導目標の上限にあることから利下げも難しいと見られ、政策金利は据え置きが当面見込まれます。
- 豪ドルの相対的な高金利は継続しそうなことから、豪ドルは底堅い推移が見込まれます。

ここもチェック!

2014年08月22日【デイリー No.1,939】最近の指標から見る豪州経済(2014年8月)  
2014年08月05日【デイリー No.1,928】オーストラリアの金融政策(2014年8月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。